

出版記念講演会・サイン会

最新刊書籍

カトリックの缶詰——フランスと日本のはざままで

竹下 節子 著

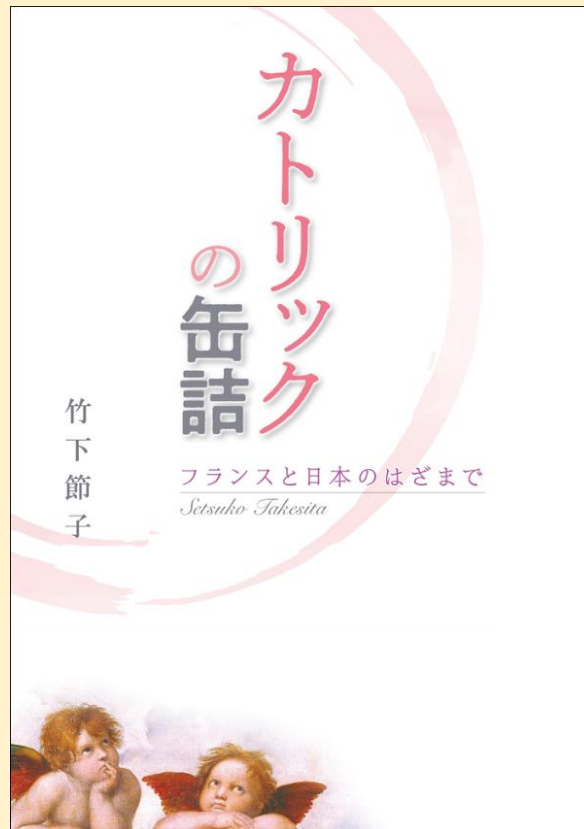
日時：4月25日（土）13:00 開場 14:00-16:55 講演会・サイン会

会場：カトリック松原教会 聖堂（どなたでもご参加ください）

東京都世田谷区松原 2-28-5（京王線・井の頭線「明大前駅」徒歩5分）

入場無料（書籍販売・サイン会・事前のお申し込み不要）

主催：オリエンズ宗教研究所 お問い合わせ：03-3322-7601（詳細・地図→）



長年フランスに住み続けている著者は、『カトリック生活』誌(休刊)の好評連載「カトリック・サプリ」で知られ、多くのキリスト教関係の著作があります。本書は、フランスの文化やカトリック教会の歴史、フランスコ教皇の帰天とレオ十四世教皇の就任など、キリスト教にまつわる興味深い内容が満載のエッセイ集です。

著者紹介：竹下節子（たけした・せつこ）1974年東京大学教養学部教養学科フランス分科卒業、同大学院比較文学比較文化専攻修士課程修了。同博士課程、パリ大学博士課程を経てフランスの高等研究実習院でカトリック史やエソテリズム史を修める。比較文化史家・バロック音楽奏者。フランス在住。著書に『カルトか宗教か』（文春新書）、『キリスト教』（講談社選書メチエ）、『キリスト教の真実——西洋近代をもたらした宗教思想』（ちくま新書）、『カトリック・サプリ』（ドン・ボスコ社）など多数。